

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 6 月 29 日

仕 事 の 内 容	自立支援給付事業			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 小川 則之

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 障害者福祉の推進

(総合計画書 55 ページ)

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉	目 4	障害者福祉費	事業 4	自立支援給付費等事業	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・身体障害者・知的障害者・精神障害者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	→ 市内の障害者数								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・障害者が適切にサービスを利用できるようにすることにより、障害者が自立して安定した生活が遅れるようにする。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	→ 障害者サービス利用者数/市内の障害者数								
③ そのために何をしましたか。 ・障害者自立支援法に基づくサービスについて、介護給付費・訓練等給付費を支給して、サービスを適切に利用できるようにする。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
→ 障害福祉サービス利用者数(サービスごとの利用者数の合計=重複者あり) ※障害福祉計画の数値を利用									

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	4,004	4,052	4,166	/	/
	成果指標	②の数値	%	27.8	28.5	28.8	/	/
	目 標	②の目標値		/	/	/	/	/
			目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	人	1,114	1,153	1,201	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	1,515,753,408	1,669,312,502	1,709,291,904	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	383,512,949	561,996,946	524,739,032	
		特定財源	円	1,132,240,459	1,107,315,556	1,184,552,872	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5.00	5.0	5.0	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	41,165,000	41,335,000	41,265,000	
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	1,556,918,408	1,710,647,502	1,750,556,904		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	・障害者の居宅サービスや施設支援は従前、措置によって行われていたが、平成15年度から支援費制度による契約に基づいてサービスを利用する形となった。さらに、平成18年度から障害者自立支援法に基づくサービス利用となった。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
・この間、障害福祉サービスの利用が拡大するとともに、都道府県の事務が市町村に移譲され、給付費は増大している。		

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	

仕 事 の 内 容	自立支援給付事業					
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係	課長名	小川 則之

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。		
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)現状を維持し、事業を継続する。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。